



Title	ポスター
Issue Date	2013-11-05
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/53652">http://hdl.handle.net/2115/53652</a>
Type	other
Note	サステナブルで安心な社会の構築へ向けて：予防原則という考え方(Towards a Safe and Sustainable Society : Applicability of the Precautionary Perspective) 2013年11月5日. 北海道大学学術交流会館小講堂, 札幌市.
File Information	poster_ja.pdf



[Instructions for use](#)



# サステナブルで 安心な社会の 構築へ向けて

予防原則という考え方

## シンポジウム主旨

持続可能で人々が安心して生活できる社会をつくるために、「予防原則」という考え方がどのように役立つかを専門家と市民と一緒に学び考えるための企画です。自然科学、予防医学、公衆衛生学、社会科学など様々な観点から、1. 予防原則の概要、2. 水俣病からの教訓、2. 環境化学物質ばく露による子どもの健康、4. アジアの出生 cohorts 研究コンソーシアム、5. 予防ベースのリスクガバナンス、に関する5つの演題を提供します。その上で、予防的方策とはそもそもどのような考え方を意味するのか、それは私たちの暮らしの安全に役立つのか、どのようにして環境を起因とする健康へのダメージを避けることに役立つのか、などの視点から持続可能な社会構築への学びの機会とします。

2013年  
**11/5** 火 13:30-17:00 (開場 13:00)  
北海道大学 学術交流会館 小講堂

## 講演およびパネルディスカッション(日英同時通訳)

司会：大林由英 北海道大学大学院 医学研究科  
環境健康科学研究教育センター兼務  
岸 玲子 北海道大学  
環境健康科学研究教育センター

長島 美織

北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院  
環境健康科学研究教育センター兼務

坂本 峰至

環境省 国立水俣病総合研究センター  
国際総合研究部/疫学研究部長

荒木 敦子

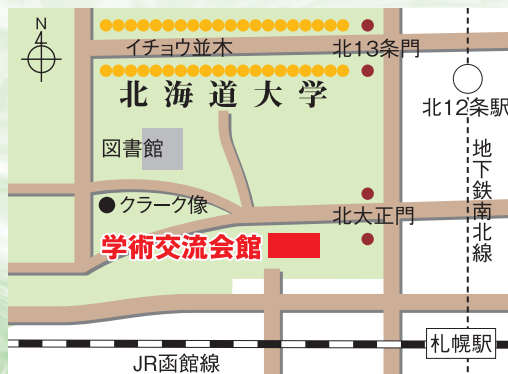
北海道大学 環境健康科学研究教育センター

Prof. Pau chung CHEN

National Taiwan University College of Public Health

Prof. Ortwin RENN <ビデオ会議>

University of Stuttgart, Environmental Sociology  
and Technology Assessment



## 申し込み・問い合わせ

北海道大学 環境健康科学研究教育センター  
TEL011-706-4746 FAX011-706-4725  
E-mail info@cehs.hokudai.ac.jp  
URL <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/>  
担当：荒木・高橋

- 主催／北海道大学環境健康科学研究教育センター
- 共催／医学研究科、教育学研究院、保健科学研究院、メディア・コミュニケーション研究院
- 後援／環境省北海道地方環境事務所、札幌市、札幌市教育委員会、札幌市保健所